

地獄ハイキング

M 温泉マイスターガイド・オリジナル!

九重山・八丁原発電所コース



お願いとご注意 歩くときは危険がつきもの

- 歩いて実感するのは危険がつきもの。特に地熱地帯は高温の場所です。足元には十分注意を。沸騰している場所もあります。
- 歩くときは足元の準備、水の準備、そして体調と心の準備を。
- 別府では、自然であっても持ち主のある場所がほとんどです。見学するときは、きちんとお願いしてください。



地獄ハイキング

九重山・八丁原発電所コース



ハイキングの見所と目的



温泉マイスター協会
シニア・マイスター 甲斐 心也

鉄輪の地獄地帯公園をスタートし、やまなみハイウェイを通過して、由布院盆地・飯田火砕流・(小松地獄)・八丁原発電所・筋湯温泉・長者原・タデ原湿原を巡ります。

大分県には3つの活火山がありますが、今回は鶴見岳・伽藍岳を除く、由布岳および九重連山を観察します。

小松地獄は数年前の豪雨で遊歩道に地滑りが発生し、現在、通行できません。

八丁原発電所は地熱発電所としては日本一の規模を誇ります。展示館で映像で地熱発電のしくみを学び、発電所の内の施設を見学します。

ハイキングコース

- ① スタート 鉄輪地獄地帯公園
- ② 狭霧台
- ③ 飯田高原D I
- ④ 細井化学工業 (株)
- ⑤ くじゅう野の花の里
- ⑥ 八丁原発電所
- ⑦ 筋湯温泉
- ⑧ 長者原ビジターセンター、タデ原湿原



Start

1

鉄輪地獄地帯公園



大分県は今年4月、「大分県火山防災啓発動画」を公表しました。「愛と憎しみの特撮音楽劇『カザーン』』というタイトルです。

この中で、県内火山の最近の噴火活動は、

九重連山	30年前	
伽藍岳	1,000年前	
由布岳	2,000年前	
鶴見岳	10,000年前	とされています。
*黒岳	1,700年前	

2

狭霧台



由布院盆地を見下ろす見晴らし台が狭霧台です。足下に由布院断層が東西方向に走り、山体崩壊の跡と見られる低い台地も観察できます。

由布院温泉の雨水や熱水の通り道となっているのが、この断層なのです。

今年の春から走り始めたJR九州の観光列車「かんぱち・いちろく」。久大線を由布院盆地の奥まで引き込むため、私財を投じて国鉄に働きかけ、実現させた衛藤一六氏にちなみます。

3 J A飯田高原ドライブイン



別府・大分方面から飯田高原に各方面へ向かう際の起点となる場所です。

真っ直ぐ南に向かえば、長者原を通過して牧ノ戸峠、瀬ノ本高原と進み、阿蘇山へいたる道になります。

東へ向かえば、千町無田、男池湧水群、白水鉱泉を通過して国道210号線の由布市庄内町に通じています。

西方面は、笠ノ口温泉の名湯群、九重夢大吊橋を通過して、九酔溪へと続いています。

4 細井化学工業(株)九重工場



細井化学工業(株)は、東京日本橋に本社を置く、明治38年(1905年)創業の硫黄関連製品の製造・販売を行う会社です。

大分県九重町田野に九重工場があり、硫黄の採掘を行っておられます。

この小山状の地層は、飯田火砕流の堆積物で、噴出源は現在の九重火山群の中心付近で、およそ5万年前と考えています。

細井化学工業(株)は、飯田火砕流堆積物の下から硫黄を採掘されているようです。

5 くじゅう野の花の郷



こちらで昼食を取ることとします。

6 九電みらいエナジー八丁原発電所



八丁原地域の地熱構造、「地熱エネルギーの熱源はプレートの移動による摩擦熱などで生じたマグマ溜りです。

八丁原地域ではこのマグマ溜りによる火山活動が約 20 万年前に起きたといわれており、その熱源で現在の地熱貯留層が形成されています。

地中深くに浸透した天水が、このマグマ溜りからの熱で 230 度から 280 度に加熱され、熱水貯留層をつくります。

地下深部から上昇した高温の熱水や蒸気は帽岩にさえぎられて地熱貯留層を形成し、帽岩はこの地熱貯留層の熱水や蒸気が地表近くの低温の地下水や温泉等と混ざり合うことを防いでいます。」(JOGMEC「地熱資源情報」より)

7 筋湯温泉



筋湯温泉は九重九湯の一つで、標高約1000mの高地に1000年以上の歴史を刻む温泉郷です。

筋湯の源泉は、九電八丁原発電所の未利用熱水が使われています。最も深い物で3000mもある生産井から、汲み上げられます。その後、気水分離装置で蒸気と熱水に分離され、蒸気はタービンに送られ発電機を回します。

一方、熱水はフラッシュで圧力が下げられ、その一部が筋湯温泉で使われ、残りのほとんどは還元井を通じて地中に戻されます。

8 長者原ビジターセンター、タデ原湿原



「阿蘇くじゅう国立公園内にあり、中間湿原の代表例とされています。平成17年に坊ヶツルと共に県内初のラムサール条約に登録されました。

マスガヤ、ミズゴケなど貴重な湿原植物が群生しており、野焼きにより湿原の維持が継続されてきました。

木道の散策道が整備されており、四季折々の植物が見られ、「九重の自然を守る会」のメンバーにより自然観察会も行われています。」(大分県観光情報公式サイトより)

